

共同研究グループ活動報告（2024 年度）

言語変異研究

1. 今年度の主な研究内容：

今年度は主に次のテーマに関するデータ収集、整理、分析と執筆活動を行った。

- ① 日中の異文化語用論の事例研究
- ② 美術作品における図像学的意味・含意と背景

2. 今年度の主な研究成果：

- ① 「横田之子が描いた中国風景—近代日本美術の図版発掘（4）」『非文字資料研究センター・Newsletter』（No. 52）
- ② 「古近代漢語“隱喻型”禮貌體系的理論構建—“陰陽”世界觀折射下的人際關係修辭法」『言語研究』（No. 47）神奈川大学言語研究センター（2025 年 2 月刊行予定）。

3. 次年度以降の主な研究計画（継続研究を含む）：

- ① 中国語の標準化・近代化に関する生態言語学的研究
- ② 中国における「国語」という概念の成立、その語彙的意味の変化および南北朝時代（439～589 年）からの中国語と西北部の異民族言語との多言語接触の研究
- ③ 記号論の視点から見る美術の表現・表象と言語学の意味・含意とのかかわり

（文責：彭国躍）